

東京家政大学後援会ドリームプラン

令和5年度

グループ展「けせらせら」一人一人が前へ進むために

造形表現学科3年Bクラス24人

代表者 S.H

参加者名簿下部記載

活動名(展示名):「けせらせら」一人一人が前へ進むために

活動期間:2023/4/1~2023/12/31

内容:グループ展/作品展示

参加人数:造形表現学科3年Bクラス24人(有志)

① 外部展示

展示会場:千駄木駅前 White Gallery

会期:2023/11/3(祝金)~11/6(月)

来場者:確定104名以上・未確定10名程度

来場者層:家政大関係者/参加者関係者/美術関係者/近所の方/観光客/60代前後の方が多かった印象

展示作品:絵画/粘土/陶芸/織物/アニメーション/版画/モビール/イラストボードなど

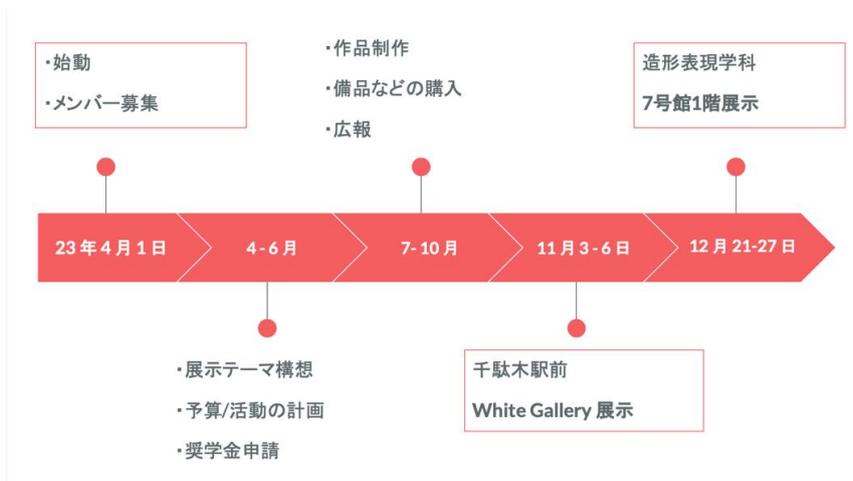
② 学科内展示

展示会場:7号館1階 ナナイチギャラリー

会期:2023/12/21(木)~12/27(水)

展示作品:絵画/粘土/陶芸/織物/アニメーション/版画/イラストボードなど

スケジュール



ロゴタイプ



ポスター



DM-A

北京联合大学 国际商学院
302室 248-

世世



- 2023.11.3 fri - 11.6 mon
- 11:00-12:00
- White Gallery ▶ 北京联合大学国际商学院 302室

DM-B



応募理由

新型コロナウイルスによる影響を大学受験から受け、2年生までは特にその影響を学生生活で受けました。課外活動など授業以外の場において多くの出会いや経験を積む学生生活は叶わなかったのですが、3年生に上がるころにはコロナの勢いも落ち着きが現れ始めたため「これまで一緒に歩んできた仲間たちと何かやりたい」とメンバー24人が集まりました。そこで自分たちではそれまでできなかった作品を制作して外部で展示することとし、今できる最大の表現活動を目指すため奨学金を活用させていただくことにしました。

活動内容

24人が共通課題としていたことが経験不足や将来に対する漠然とした不安を自分たちの力で前向きなものへ変えたいというものでした。作品を制作して展示し来場者と交流することは、これまで叶わなかったため社会に出るためのスタート地点に立つことと同義でした。また、自分らしい表現で社会と付き合おうといったテーマを立て、「けせらせら」はそこから生まれました。

活動の振り返り

参加者にとってこの一年はグループ展のことでいっぱいだった年でした。というのも、24人いるからこそ他所にはできないようなビックイベントにしようと意気込み、各々の得意とする分野の仕事で盛り上げてきました。例えば広報ではチラシやDMを作成しネット広告へ拡散し、会場構成ではいかにお客様と作品を繋げるか考えました。また、極力大人数で集まり、どのような展示にしたいかを話し合いも行いました。その甲斐あって初めての展覧会にしては良い出来になったと評価もいただきました。参加していない同期にも影響があったようで、クリエイター活動を本格化させた者もいたようです。正直、改善点はいくらかでもありますが一年やり切ったと思える達成感のある活動でした。

展示風景



参加者名簿

I.E

I.M

I.N

U.C

U.M

E.S

E.M

O.S

O.C

O.M

K.A

K.Y

K.M

K.K

K.M

K.K

K.A

K.M

K.M

S.H

T.Y

H.H

F.Y

W.A